

幸せを感じる社会の実現に貢献する農業のあり方

グッドローカル農業に取り組んでいます

持続可能で幸せを感じる社会の実現に貢献する農業のあり方「豊岡グッドローカル農業」を市内に広めるため、3月5日にコウノトリ但馬空港で「第0回農業大会」を開催しました。

大会当日、5つの団体が取組み発表を行いましたので、その要旨を紹介します。

《問合せ》農林水産課 ☎23-1127



神鍋高原でドライブスルー農園を開園

農地所有適格法人(株)Teams ^{チームス} 営業部長 由良 大さん

農業と観光を結びつけ、観光しながら農作業体験ができるドライブスルー農園を2年前から実施しています。体験者はEVモビリティ「トゥクトゥク(タイで普及している三輪車)」に乗り、神鍋高原の景色を楽しみながら農園の新鮮な野菜を収穫できます。その他の体験活動や周辺の宿泊施設とも連携し、神鍋高原全体を複合レジャーエリアとして捉え、地域全体の魅力を発信していきます。



都市部も巻き込み神鍋大根プロジェクト

西気明日のいしづえ会 副会長 中島万佐代さん

地域の活性化を促すため、神鍋高原の気候と土壌を生かした大根を生産・販売するプロジェクトを8年前から地域コミュニティ組織で取り組んでいます。地域住民のみならず、都市部の農村ボランティアの皆さんも巻き込んでいます。大根を使った料理教室、雪中大根の収穫作業などを通して、多くの人に西気地区の魅力に共感してもらいたいと考えています。



農家の皆さんと一緒に生活循環をテーマにイベント開催

エシカルビレッジ ^{エシカル ビレッジ} 岡本幸恵さん 岸本静香さん

「エシカルビレッジ」は、自然環境に配慮した持続可能な暮らしを家庭から広めたいという思いから、子育て奮闘中の2人のママが運営・企画しているイベントです。これまで3回開催しており、イベントでは、地元農家・高校生による農産物の直売、地元野菜を使った飲食の提供などを行っています。環境に配慮した製品の消費を促進するだけでなく、豊岡ならではの魅力を再発見し、未来の子どもたちがふるさとを好きでいられることを目指しています。



農家や直売所と連携しこども食堂を運営

NPO法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク 事務局長 戸田和代さん

不登校やひきこもりの方のための居場所作りの支援の一環として、こども食堂を月2回豊岡健康福祉センターで開設しています。食材は、農家から提供された米や野菜、JAたじまの直売所「たじまま」で集められた規格外野菜を使用しています。「自分たちも農業をやりたい」という利用者は、地域からのサポートを受けつつ、農業体験も行っています。こうした活動が、通所する若者たちが抱える「しんどさ」をやわらげ、生きる活力を取り戻す手助けとなっています。



在来種「八代オクラ」栽培を振興

八代おもいやりネット 会長 石田善明さん

地域振興の一環として、60年以上前から八代地区内で栽培されていた「八代オクラ」を栽培・出荷する独自事業を行っています。地域振興だけではなく、拡大する耕作放棄地の対策や、景観保全の役割を担っています。地区の農家と生産活動を進めるとともに、料理コンテストの実施や地元保育園児の収穫体験、都市部大学生のフィールドワーク受け入れなど、地域内外を問わない交流も積極的に行っています。



第1回大会は、2023年秋に開催予定です。